

# 散髪用成長の証し

新座市立池田小5年

上野 涼平 11（新座市）

ぼくは生まれてからずっと、祖母に髪の毛を切ってもらっています。なぜなら、祖母は若い頃、理容師として働いていたからです。

月1回祖母の家に足を運んでは髪を切ってもらっています。散髪時専用の椅子がありますが、幼い時は祖父のひざ上でした。それから、小さなひじかけの付いた子ども用の椅子を買ってもらいました。やがてそれも小さくなり、新しい丸椅子を祖母が用意してくれました。そして今では、祖父や父が髪を切るときに座っている椅子を同じように使っています。

こうしてこれまで使ってきた椅子を振り返ってみるだけで、自分自身の成長を感じます。いつの日か、ぼくが祖母に新しい椅子をプレゼントして、恩返しをしたいと思います。